

警察庁における分野別推進戦略の実施状況と展望

- 社会基盤PT(第2回)説明資料 -

平成19年3月28日
警察庁

戦略重点科学技術：現場活動を支援し人命救助や被害拡大を阻止する新技術

違法薬物・危険物質の探知処理技術

＜平成18年度における実施状況＞

生物剤として利用される可能性が高い微生物について、迅速／簡易検知法を開発した注1)。ガス性・揮発性化学剤、生物毒素に対する個々の現場検知技術を開発した注1)。

＜今後の取組み＞

引き続き、生物化学剤の検知に関する研究開発を行うとともに、平成19年度から、手製爆発物の処理技術に関する研究開発を開始する。また、放射性物質の迅速、正確な発見を行うための現場探知技術の開発整備、防護方法のマニュアル化等の研究開発を行う。



地下鉄サリン事件



現場検知資機材



バス爆破テロ



爆発物のトレース探知



コンテナ等に隠蔽されたRN物質の探知

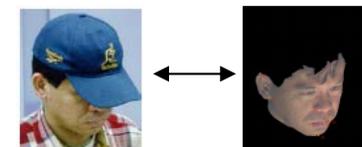
犯罪防止・捜査支援・鑑定のための先進的技術開発

＜平成18年度における実施状況＞

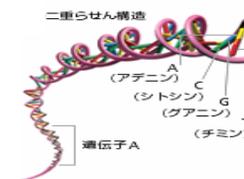
3次元顔画像データベースに関して、3次元/2次元顔画像検索照合用の基本ソフトウェアを試作した。また、従来のDNA型鑑定法の高度化を行い、標準検査日数を短縮した。

＜今後の取組み＞

引き続き、3次元顔画像個人識別技術、微細証拠鑑定のための物質同定技術、行動科学による犯罪防止・捜査支援技術の研究を進める。平成19年度から、より陳旧な資料にも適用可能な、一塩基多型(SNPs)分析によるDNA型鑑定の研究開発を開始する。



2次元画像と3次元画像の照合システムモデル



一塩基多型(SNPs)の検出

注1) 科学技術振興調整費等の外部資金による研究開発による成果

道路交通の安全性・信頼性向上

＜平成18年度における実施状況＞

官民連携したインフラ協調による安全運転支援システム（DSSS）の実証実験のあり方をまとめるとともに、IT新改革戦略に基づき、官民一体となった「ITS推進協議会」を設置した注2）。

＜今後の取組み＞

引き続き、安全運転支援システムのモデル事業を実施するとともに、次世代システムの研究開発を推進する。また、IT新改革戦略に基づき、平成20年度に官民連携した大規模な実証実験を実施する注2）。

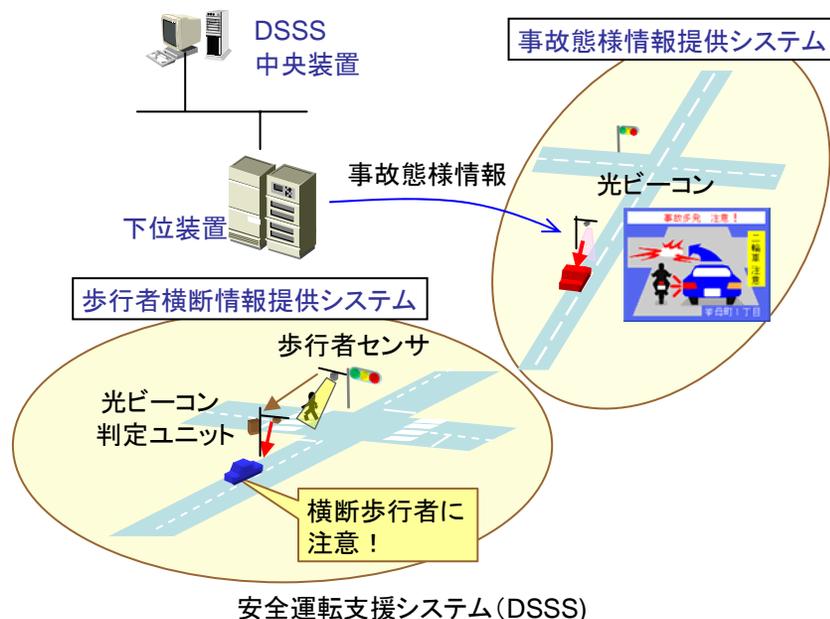
ヒューマンエラー事故防止・抑制技術

＜平成18年度における実施状況＞

ドライビングシミュレータにより、高齢運転者の認知情報処理特性や問題を明らかにした。

＜今後の取組み＞

引き続き、高齢運転者の認知判断能力の評価方法を明らかにする。平成19年度から、イベントデータレコーダー（EDR）に記録された事故時の情報の解析に基づく高度な交通事故分析の研究開発を開始する。



- 文科省、国土交通省等の他府省との連携
- 大学、他の研究機関及び開発メーカー等との共同研究
- 科学技術振興調整費等の外部資金による研究